

委員会行政視察報告書

畑山 親弘

委員会名	議会運営委員会			
活 動 委 員 名				
工藤 正廣 議長	田中 重光 副議長			
畑山 親弘	久美 平和	石橋 義雄		
垣野 瑞彦 雄	松田 百合子	山端 博		
文田 量子	江渡 信貴			
経 費 区 分				合計金額
1 研修旅費	2 自動車借上料	3 議長交際費	一人当りの費用	
827,765		4,994	83,276	832,759
期 間 (年月日)	平成30年1月23日～平成30年1月25日 (2泊3日)			
視察事項	○埼玉県飯能市 タブレット端末の導入について			
	○静岡県掛川市 議会報告会について			
視察先	埼玉県飯能市 静岡県掛川市			
内容及び成果				
<p>① 埼玉県飯能市のタブレット端末の導入について</p> <p>最初に飯能市の正面副町長で内務部長の熱い歓迎をうけた。 (数千人に千人で拍手で「いっしょに」) 又、現場で実際のタブレットを 用いた研修、それに飯能市議会、担当課の栗原+マフテに地元の からタブレット導入についての説明を受けた。</p> <p>栗原+マフテの挨拶要旨は次の通り</p> <p>2014年に 済成可能都市としての居の報告をうけた。タブレット で、この要旨を 紹介もされた。また、お礼の言葉も述べた。 タブレットをめぐって 課題、その課題への取り組みの紹介も行った。 ・タブレットは 平成24年の導入したところである。 ・タブレットの導入、36の議席数は議会改革の目標として26人に417 21人への導入、今後は19人への導入。</p> <p>・タブレット導入は 最終マシックスシステム (150 1400/1000) の導入で目標値 総額2000万円 (500万円 (5.2%) 残り1500万円) として、いかに削減して導入しようとしている。</p>				

※視察報告書の充実を図るため、視察時の質疑応答事項等も記載してください。視察者個々の所感も別途作成し添付してください。

2) 導入後の効果

10/12に、スリーエフ アールエフエーの導入が完了し、最終
 的にパブリック導入された。全労協組合の導入は資料の
 上、年報の3部面には記載され、トップ入、電話で伝えていること
 などは、アールエフエー導入の経緯に不十分であることから、調査の
 検討に、アールエフエーの導入経緯が記載されている。

1) 初期調査 読入Dの情報伝達 (X-1)

- 各種経理上の緊要連絡 (X-1) → 労務上の緊要連絡
- 改善調査活動 (インターネット) → 労務上の緊要連絡
- 各種資料の交換 (LAN) → 各種経理上の緊要連絡

アールエフエー (第2世代) アイロフ Air 2
 V2700 4.2MHz 1991年製 3300型 複写機 V2700
 (CP5 搭載) もっている

2) 費用 読入費

1) 第1世代 (24~27機) 246万円 (現在第2世代) (270万円)

- ① 初期費用 205万円
 主にアールエフエー構築 部品 消耗品費
- ② 維持費用 141万円

2) 一斉導入通信費 年額約 58800円 (45600円) 月額約 4900円 (3800円)

概	公費 $\frac{4}{6}$	=	39,200	(38600円)
	経費 $\frac{1}{6}$	=	9,800	
	自己負担 $\frac{1}{6}$	=	9,800	(7600)

3) 導入効果

- 1) 初期調査効果額 210万円
 全労協組合 24万円
 本会紙 費用削減効果 186万円
- 2) 紙使用率削減効果 年約 100万円

4) 導入後の運用状況

- ① 全労協組合に各種調査会社の 10-10-V25K
- ② 本会紙 一般社内での効果的活用

⑤ 社内内の情報伝達

刷印 - 手紙 各種メール送信
メール - 機敏 には システム の 活用

④ 笑話の活用

③ 読書会、年報会の開催

② 社内仲、情報収集

① 各種書類の整理保存

h) 社内のIT化

① 総務部課内情報端末機 活用促進

② ' ' ' ' ' ' 活用範囲

③ ' ' ' ' ' ' IT 活用促進

6) 視察意見

経営部 社内、情報伝達 装置の活用促進 努力
の活用 社内、情報伝達 装置の活用促進 努力
の活用 社内、情報伝達 装置の活用促進 努力

一部の課では 持ちこた 社内、情報伝達 装置の活用促進 努力
の活用 社内、情報伝達 装置の活用促進 努力
の活用 社内、情報伝達 装置の活用促進 努力

① 掛川市の諸会報告会 12/11/7

1) 静岡県掛川市の概況 174 年 2017 年合併した人口 17,500 人など
 初年度は 472 億円程。現在の 21 人など。市議会は 13
 以上の宿務町。 2017 年 掛川市の 2017 年 掛川市は山内
 一帯の建設に 掛川市である。

今 30 年間の行政体制を 21 年 12 月 31 日 行政
 の 30 年間の 21 年 12 月 31 日 行政
 の 30 年間の 21 年 12 月 31 日 行政
 の 30 年間の 21 年 12 月 31 日 行政
 の 30 年間の 21 年 12 月 31 日 行政
 の 30 年間の 21 年 12 月 31 日 行政

掛川市は 2017 年 12 月 31 日 行政
 の 30 年間の 21 年 12 月 31 日 行政
 の 30 年間の 21 年 12 月 31 日 行政
 の 30 年間の 21 年 12 月 31 日 行政

2) 議会改革 12/11/7

① 議員定数の削減、1人-1人-1人の導入 12/11/7
 平成 20 年 12 月 議員定数 30 人 24 人 12/11/7
 平成 20 年 12 月 議員定数 30 人 24 人 12/11/7
 平成 20 年 12 月 議員定数 30 人 24 人 12/11/7
 平成 20 年 12 月 議員定数 30 人 24 人 12/11/7

② 議会報告会 12/11/7

報告会 25 年 12 月 11 日 12/11/7
 報告会 25 年 12 月 11 日 12/11/7
 報告会 25 年 12 月 11 日 12/11/7
 報告会 25 年 12 月 11 日 12/11/7

議会報告会、政策討論会 12/11/7
 議会報告会、政策討論会 12/11/7
 議会報告会、政策討論会 12/11/7
 議会報告会、政策討論会 12/11/7

議会報告会	12 月 25 日 9 月 1 日	542 人
	26 日	603 人
	27 日	552 人

2019 9月截止 452人 市队
 2018 522人

2019.2.20截止。 统计的是 榆林市工作队在富县工作的人员
 统计的是 2018年 榆林市工作队在富县工作的人员
 统计的是

③ 相关意见

榆林市工作队 2018.01.01 二队中队数已表现不佳 建设物
 2.20.2.20 市行政局 市物委 市民 市队 市队
 7.20.7.20 市队 市队 市队 市队 市队 市队
 市队 市队 市队

榆林市工作队 市队 市队 市队 市队 市队 市队
 市队 市队 市队 市队 市队 市队
 市队 市队 市队 市队 市队 市队

市队 市队 市队 市队 市队 市队
 市队 市队 市队 市队 市队 市队
 市队 市队 市队 市队 市队 市队

平成30年 2月 8日

議会運営委員会 先進地行政調査報告書

議会運営委員 久慈 年和

1. 調査年月日平成30年 1月23日（火）～25日（木）
2. 目的地と調査項目
 - ・目的地 1月23日（火） 埼玉県飯能市議会
調査時間 14時00分から16時00分
研修項目 (1) タブレット端末の導入会について
 - ・目的地 1月24日（木） 静岡県掛川市議会
調査時間 14時00分から16時00分
研修項目 (1) 議会報告会について
3. 調査報告書

<埼玉県飯能市議会>

飯能市は埼玉県の南西部に位置し、都心から約50^{km}圏内という交通アクセスも良好な環境にありながら、緑と清流という自然に恵まれた街です。

市の北西部は山地で、市域の約76%を森林が占めています。南東部は丘陵部及び台地で、北の高麗丘陵と南の加治丘陵の間の台地部分に市街地が発達しています。

平成17年に旧名栗村と合併し、県内3番目という広い面積を持つ飯能市です。

飯能市の面積は193.06^{km}で、平成17年に「森林文化都市宣言」をした武蔵野の豊かな自然にめぐまれた街で、子育てにやさしい街でもあります。

飯能市の人口 80,293人

<行政調査項目概要>

タブレット端末の導入について

飯能市は、タブレット端末の導入することを、平成24年度に日本で初めて議会に導入した。

平成23年3月の東日本大震災を契機に、「電気使用量削減」や「ごみ排出量削減」とともに、紙の使用制限と使用量の制限にも取り組んだ。「電気使用量削減」や「ごみ排出量削減」は、おおむね目標を達成したが、紙の使用削減は進まなかった。そのため、平成26年3月に「議会改革特別委員会」を設置し、ペーパーレス化に向けた取り組みを行う。

- メリット ⇒
- ・議員21人に「ファックス」するためには、1時間程度かかって送信していたが、不要用になり、事務局が他の事務に従事できる。
 - ・災害の際、災害対策支援システムを活用し、議員に情報が入ることになった
 - ・紙使用量が削減 など

費用（議会費） 平成24年度 346万円

うち、初期費用に 205万円

維持費用に 141万円

議員一台当たりの通信費は、年額58,800円

内訳は、 公費 4/6 39,200円

政治活動費 1/6 9,800円

自己負担費 1/6 9,800円

↓

費用（議会費） 平成28年度 導入費用 270万円

うち、初期費用に 約17万円 ← タブレット端末設置費用

維持費用に 253万円

議員一台当たりの通信費は、年額45,600円（月額3,800円）

内訳は、 公費 5/6 約38,000円

自己負担費 1/6 約 7,600円

に変更した

タブレット導入後の運用状況

- ・ 議会会議のペーパーレス化になった
- ・ 本会議 ⇒ 一般質問で効果的な活用ができた
- ・ 議会 ⇒ 事務局から各種文書のメールで事務の簡素化とペーパーレス化になった
- ・ カレンダー活用 ⇒ スケジュールの共有が可能になった
- ・ 議案書、予算書等の閲覧をタブレットで ⇒ ことばの意味も含めて調べられる

タブレット利用のルール

- ・ 飯能市議会で使用基準を作った
- ・ 情報端末機の使用範囲等を作った
- ・ IT会議基準を作った

<行政調査の感想>

視察して、事務局の事務の簡素化に繋がっていること、また、ペーパーレス化になっていることなどの利点が多くあったことは確かだが、「紙の文書」に慣れている者にとって、タブレットの画面のみですべてを見ることに不安を感じた。

また、タブレットからパソコンを経由して印刷ができないと、やはり、「紙の文書」に慣れている者にとって、不自由を感じている。ただ、時代の流れが「タブレット」導入で事務の簡素化やペーパーレス化などに進まなければならないことは理解できたので、タブレット導入に十和田議会も取り組まなければならないと思った視察だった。

<静岡県掛川市議会>

議会報告会について

<行政調査項目概要>

掛川市の概要	人口	117,685人 (H29.4.1現在)
	一般会計予算額	445億3千万円
	議員定数	21人
	議員報酬	議長 495,000円 副議長 435,000円 常任委員長及び議会運営委員長 421,000円 議員 411,000円 政務活動費 年額 300,000円
	議員の任期	平成29年4月24日～33年4月23日 議員の平均年齢 54.8歳
掛川市議会の構成 (常任委員会)	総務常任委員会	(定数：7人)
	文教厚生常任委員会	(定数：7人)
	環境産業常任委員会	(定数：7人)

掛川市は、静岡県の西部に位置し、静岡県の二大都市静岡市と浜松市の中間に位置している。平成17年に旧掛川市、旧大東町、旧大須賀町の1市2町が合併した。市中央部に、東海道新幹線、東海道線、東名高速道路、国道1号が横断する広域交通の要衝に位置している。

自然と深い関わりの中で、お茶や葛をはじめ、さきざきな地場産業を培ってきた。掛川には、お茶やいちご、バラ、葛布など特産品が数多くある。

また、製造品出荷額は一兆円を超える県内屈指の商工業都市として成長し続けている。

<議会報告会>

○ 全国に先駆けて「生涯学習都市宣言」をした

○ 掛川市議会基本条例 (平成25年3月制定)

第5条 議会報告会 ⇒ 説明責任を果たすとともに、市民の意見を把握し、議会活動に反映

○ 議会報告会と政策討論会

テーマ設定 幹事会 (会派選出：8人) で決定

↓

調査・研究 テーマ毎に作業部会を設置して検討

↓

議会報告会 市内9カ所 (中学校区単位) で開催

↓

1班が3会場を担当×3班で9会場で開催

市民意見 (市民のご意見を伺う)

↓

政策討論会 討論会を開催し、政策討論 (政策討論)

↓

○ 議会報告会の実施方法等

＜告知から開催までの必要日数＞

一ヶ月程度

＜開催案内の方法＞

市議会の広報紙やHPへの掲載及び自治会回覧

＜議員と事務局の役割分担＞

会場の申込み～会場設営・記録等、すべて議員が対応

＜その他、運用のルール＞

基本条例 ⇒ 議会として説明（指針・個人や会派の見解は禁止）

実施要綱 ⇒ 必要な事項を定め運用

○ 議会報告会

平成25年度 9会場 市民参加：542人

平成26年度 9会場 市民参加：603人

テーマ 人口減少社会に掛川市はどう対処すべきか

平成27年度 9会場 市民参加：552人

テーマ 人口減少対策の提言

平成28年度 9会場 市民参加：452人

テーマ 市民の皆様が必要とされる議会を目指して など

平成29年度 9会場 市民参加：522人

テーマ 健康日本一に向けた提言について など

○ 議員による資料作成へシフト（議会報告会と政策討論会）

平成25年度 事務局が全面的にバックアップ

↓

平成26年度 作業班に議事調査係員を配置

↓

平成27年度 議員だけで資料作成

- ・ 議員による調査や資料収集をし、作業班ごとに打ち合わせを行いながら資料を作成
- ・ 全体会において資料の確認、調整
- ・ 全体会でリハーサルを実施

○ 議会報告会の実施効果、課題、今後の取り組み

＜効果＞

- ・ 開催目的の達成
市民との情報共有と意見交換（議会活動や市政に関する情報など）
市民に対する説明責任 ⇒ 市民の意見を把握 ⇒ 議会活動に反映
- ・ 開かれた議会と身近な議会になった

＜課題＞

- ・ 諮問意見に対する答弁
- ・ 情報を多くの方へ
- ・ テーマの設定

- ・ スケジュールの調整

<今後の取組>

- ・ 手話通訳（要約筆記）の導入
- ・ 開催時間の変更（一部）

○ 政策討論会の実施方法等

<座長及び副座長の選出方法>

監事の互選により選出（監事の定数8人/各会派按分で選出）

<テーマの決め方>

会派提案 ⇒ 感じ取りまとめ ⇒ 幹事会にて協議、決定

<政策提言とする基準>

討論を重ね、議会の合意形成が図られた場合

<議員の事務局の役割分担>

事務局：会議の設定、記録の作成

<その他、運用のルール>

基本条例 ⇒ 議会としての共通認識の醸成、合意形成

実施要綱 ⇒ 必要な事項を定め運用

○ 政策討論会

<意見の活用>

- ・ 常任委員会及び特別委員会における政策立案
- ・ 執行機関への政策提言
- ・ その他、議会における政策形成への反映

<平成25年度>

- ・ 水道事業の現状と課題について
- ・ 中東遠総合医療センターを核とした地域医療の充実について

<平成26年度>

- ・ 人口減少社会に掛川市はどう対応すべきか

<平成27年度>

- ・ かけがわ健康寿命について
- ・ 若者に魅力ある掛川市について

議員間で積極的な討論を行い、議会の合意形成を図り、市長等へ提言する

<平成28年度>

- ・ お達者度日本一について
市民全体で取り組むことを提言する

<平成29年度>

- ・ 豪雨災害に備え、「リアルタイムな情報を共有できるシステムの構築」について
気象庁、河川管理者、静岡県等からの情報（タイムライン）を入手し、危険度に応じて情報を発信している。ツールは多数あるものの、受け取り側がこなせていない状況がある。

○ 議会提案による条例制定

<掛川市が掲げた3つの日本一>

1 環境日本一

☆ 環境基本条例 平成18年1月施行 行政

2 市民活動日本一

☆ 掛川市自治基本条例 平成25年4月施行 市民

3 健康医療日本一

☆ 掛川市健康医療基本条例 平成28年4月施行 議会

○ その他、掛川市議会の特徴

・市議会の議場の屋根

新幹線や東海道線から見える議場の屋根

特色ある形状で目立っている

市の姿勢「市民と行政が手を合わせた市政」を表している

・市議会議場は円形になっている

同じ目線で車座になって議論することをイメージし、議場の形状を円形とした

<行政調査の感想>

人づくりまちづくりを推進してきた延長で、議会基本条例を制定し、その条例に基づき具体的に議会報告会を開催している。

議会報告会は中学校区毎に開催し、会場への参加者は1会場平均50-60人で、全会場で500~600人と多くの市民が報告会に参加しており、うらやましく思った。また、会場の多くがイス席でゆったりとした体勢で参加できる環境になっている。そして、大画面（スクリーン）を使用して市民に分かりやすく、理解しやすい方法の報告会になっていた。

中学校区毎に50-60人が使用できるイス席の会場があること、また、スクリーン等の設備が整っている場があること、公共施設が充実されていることに驚いた。

ただ、議員が報告会のため、幹事会や作業班の開催し、政策提言などを公務外で行っており、議員の業務量が十和田市の議員と比較できないくらい多くなっていた。

十和田で掛川市のような仕組みの議会報告会の取り組みができるか難しいと思うが、少しでも掛川市の議会報告会を参考にしながら、十和田でも議会報告会が、今よりも良い「議会報告会」ができるよう議会で取り組みたい。

議会運営委員会 視察報告書

議会運営委員 櫻田百合子

1、日時 平成30年1月23日(火) ～1月25日(木)

2、視察先と調査項目

①1月23日(火) 埼玉県飯能市：タブレット端末の導入について

《導入に至る経緯》

・飯能市の取り組み →環境マネジメントシステム(I S O 14001 適合)
環境に配慮した活動推進

↓

電気使用量とごみ排出量の削減については概ね目標達成したが、紙使用量削減については、目標値 20,000 kg に対し、実績 5,222 kg 超過していた。H22 年度比 125 万枚削減が必要。また、当時消滅可能都市の一つと言われたこともあり、市長が奮起し、平成 24 年に日本で初めてタブレット導入。

《タブレットの有効活用》

(1)全員協議会ペーパーレス化(LAN)

(2)議会内の情報伝達(メール)

議員 ⇄ 事務局 各種文書送信

(3)危機管理上の緊急連絡(メール)

災害時の緊急通信

(4)政務調査活動(インターネット)

先進事例調査など

(5)各種資料の閲覧(LAN)

各種計画等、既存電子データ使用

《導入効果》

(1)費用削減効果額 年間約 210 万円(443 万円/24 年 25 年の 2 年間)

①全員協議会資料削減額 約 24 万円

②本会議会議録冊子廃止：印刷製本費 約 186 万円

(2)紙使用量削減枚数 年間約 10 万枚

①全員協議会資料 約 24,000 枚削減

②本会議会議録冊子分 74,400 枚削減

(3)上記以外の導入効果

①環境負荷低減

- ②経費節減、事務改善
- ③情報伝達の迅速化
- ④政務調査活動充実
- ⑤危機管理対応の向上

《タブレット導入後の課題》

(1)利活用の推進

- ①ペーパーレス化対象会議の拡大
- ②災害時の有効活用
- ③タブレット機能・アプリケーションソフトの有効活用

(2)システム等の見直し

- ①高機能・効率的なシステム(端末含む)の研究
- ②使用基準等の見直し

タブレット導入時の初期費用が約 346 万円。当初は全員協議会前にリハーサルを行い、慣れるまでは大きな画面をセットし、同時にタブレット画面を進行させながら行なわれたようです。しかし、思ったほどのトラブルもなく、何よりも職員による、書類のファックス送信作業が 19 時まで行われていたものが、瞬時に情報伝達できることから、違う作業に時間を使えるようになり、それは金額にして年間 30 万円に相当します。タブレット導入による効果を考えると、十和田市も早い時期に取り入れるべきだと思いました。当日ペーパーはなく、タブレットにおいての説明でしたので少し不安でしたが、なんとかトラブルもなく、操作できました。

②1月24日(水) 静岡県掛川市：議会報告会について

《議会報告会開始の経緯》

掛川市議会基本条例(平成25年3月制定)

第5条 議会報告会

第6条 市長等との関係

第9条 政策立案等

第11条 政策討論会

等10章20条の基本条例を制定する。

《議会報告会の実施方法》

- ・告知から開催までの必要日数 →1か月程度
- ・開催案内の方法 →市議会や広報誌やHPへの掲載及び自治会回覧
- ・議員と事務局の役割分担 →会場の申し込みから会場設営・記録、全ての議員対応
- ・その他運用のルール ①基本条例…議会として説明(指針：個人や会派の見解は禁止)
②実地要綱…必要な事項を定め運用

《議会報告会》平成25年スタート

議会から報告→意見交換(質疑応答)…(政策討論)

平成25年 (9会場 市民参加：542人)

平成26年 (9会場 市民参加：603人)

平成27年 (9会場 市民参加：552人)

平成28年 (9会場 市民参加：452人)

平成29年 (9会場 市民参加：522人)

《議会報告会の実施効果・課題・今後の取組》

[効果]

- ・開催目的の達成
市民との情報共有と意見交換(議会活動や市政に関する情報など)
市民に対する説明責任→市民の意見を把握→議会活動に反映
- ・開かれた議会／身近な議会になっている

[課題]

- ・市民意見に対する答弁 ・情報を多くの方に
- ・テーマ設定(これから問題となりそうなものをテーマとする)

- ・スケジュール調整

[今後の取組]

- ・手話通訳(要約筆記)の導入
- ・開催時間の変更(現在夜だけ)

《政策討論会》平成 25 年スタート

[意見の活用]

- ・常任委員会及び特別委員会における政策立案
- ・執行機関への政策提言
- ・その他、議会における政策形成への反映

《政策討論会の実施効果》

- 共通認識の情報が得られ積極的な政策提案につながった
 - ・平成 26 年 4 月 4 日に政策討論会で取りまとめた意見を政策提言として、議長から市長に提言書を、企業長に要望書をそれぞれ手渡した



改善に寄与

- ・平成 27 年 3 月 19 日に政策討論会で取りまとめた意見を市議会からの政策提言として、議長から市長に提言書を手渡した



総合計画・戦略書に反映

当市と比べ、議会報告会に参加する市民の方の数の違いに驚きました。その前段階で、人づくり・まちづくりにまず力を入れ、市民の方の市に対する思いや意識が高めることから始め、その流れで報告会がはじめられたようです。また、議会報告会のテーマはこれから問題となるようなものとし、議会報告会・政策討論会の資料作成は議員だけで行われます。これらの業務のバックアップできるように掛川市では、在職時の豊富な経験及び知識を活用させるために、平成 27 年度から再任用職員が調整官として配置され、議員からの相談業務、調査資料の提供、事務局職員の支援等が行われています。当市においても調整官の配置があってもよいのではないかと思いました。

議会運営委員会調査視察報告書

平成30年1月23日（火）

埼玉県飯能市

飯能市議会におけるタブレット端末導入について

飯能市の取り組みとして環境に配慮した活動を推進しているという。

- ① 電気使用量削減②ごみ排出量削減は概ね目標を達成しているというが、紙使用量削減では平成22年度比で125万枚の削減が必要とのことで、ミสปリントなどを抑制しペーパーレス会議の推進していった。

議会での対応では情報通信技術（ICT）の活用による議会改革の推進に取り組み、タブレットを有効活用することにより、様々なメリットがあるといえます。

1. 全員協議会ペーパーレス化
2. 議会内のメールなどによる情報伝達 議員、事務局間の文書送信
3. 危機管理上の緊急連絡 災害時の緊急通信
4. 政務調査活動 先進事例調査など
5. 各種資料の観覧 各計画や既存電子データ利用

があり、実際の飯能市議会での導入効果として、

1. 費用削減効果額として 年間約210万円
2. 紙使用量削減枚数として 年間約10万枚
3. その他の効果として 環境負荷低減、経費削減、事務改善、情報伝達の迅速化、政務調査活動の充実、危機管理対応の向上があったといえます。

タブレット端末導入については、今後当市でも様々な効果があることから、導入に向けて議論していかなければならないものであり、利用規約等のルールの整備も迅速に考えていかなければならないと考えます。

平成30年1月24日(水)

静岡県掛川市

議会報告会について

掛川市議会での市民との議会報告会の流れとして、

テーマ設定→調査研究→議会報告会→市民意見→政策討論会→政策提言

となっており、当市との大きな違いはテーマを設けての議会報告会ということである。中でも驚くところは、テーマ毎に作業部会を設置して、資料の作成、プレゼンの仕方等を議員本人が行う点に驚いた。

また、掛川市では全国に先駆けて生涯学習都市宣言をしており、市民出資のもと新幹線掛川駅の実現や、高速道路インターチェンジの設置、文化財の復元など、行政運営に市民が参画し協働を古くから体現している自治体であると思う。

そのためか、議会報告会の市民参加数も1会場あたり50人を超す人数が参加しており、テーマに沿って熱心な意見交換が行われていると伺います。当市では1会場あたり10人程と大きな差はありますが、30年度の市民との意見交換会では議員自ら地域に足を運び、市政に対し興味を持っていただくための玄関口として、議会報告を行っていきたいと思います。

委員会行政視察報告書

議会運営委員会

氣田 量子

日時 平成29年1月23日～25日

視察先 埼玉県飯能市・静岡県掛川市

・タブレット端末の導入について

議会にタブレットを日本で最初に導入した飯能市で、タブレットを使って経緯を説明頂きました。ペーパーレスにつながっているとのこと、事務局からの連絡も全てタブレットなので、FAXに職員の時間が取られていたのが無くなったなど、とても参考になりました。災害時など、議員一人一人からの問い合わせや被害の状況など一括してメールで送信できたり、被害の共有が一斉に出来るので、去年の台風の際、災害本部でも活用出来たとのお話はなるほどとタブレットの導入の重要性を認識致しました。十和田市でのタブレット導入を待ち望んでいます。早く導入できるようにしたいです。

・議会報告会について

議会報告会の開催にテーマを決め、議員が資料を作り全議員にプレゼンしてから、市民の皆様に報告や提言をしています。9会場平均50人から60人市民が参加している要因は、30年かけて生涯学習をしてきた背景があります。財政再建団体として危機的状況を市民一人一人が一緒になって考え解決してきた歴史の上にこの市民の参加人数が多い事につながってきます。

また、市民の要望は、市長が部長を連れて市内30箇所周り要望を聞き、それを冊子にまとめてA～Dまで優先順序を決めて解決しているの、議員もチェックして次の年には同じ要望は上がらないほど、徹底しているので効率がいいと思いました。

また、政策討論会で取りまとめた意見を政策提言として議長から市長へ提言しています。

全体的に、掛川市は市民、市長、職員、議員の考え方様々な流れが、十和田市と全然違うと感じました。

地域の環境が違うこともあるので一概に言えないが、掛川市を何とかしなきゃならない、豊かなものにと、共通の認識があります。

十和田市にも少しでも実践できるよう考え進めて、住みやすい十和田、住みたい街十和田にしていく努力をしていきたいと改めて決意致しました。

●議会運営委員会 先進地調査視察 掛川市議会

十和田市議会運営委員会では、議会報告会、市民との意見交換会について、静岡県掛川市に行ってきました。掛川市は静岡県の西部に位置し市北部には新東名高速が開通、東側 15 k mには富士山静岡空港があり、日本の大動脈を抱えているとともに広域交通の要衝に位置しています。戦国時代には、徳川・武田攻防の高天神城を舞台とした戦いが行われその後は掛川城と横須賀城を中心に城下町が形成されました。東海道の宿場町として、海上交易の中継地としての役割も果たしつつ栄えてきました。産業はお茶や葛をはじめ、掛川ならではの特産品が数多くあり、また製品出荷額は 1 兆円を超える県内屈指の商工業都市として成長を続けています。

平成 25 年 3 月に掛川市議会基本条例が制定されました。その中、第 3 章第 5 条に、議会報告は、議員個人や会派としての見解を述べるものではなく、議会として審議・審査の内容や経過を説明し、市民の皆さんから意見を伺い、議会に反映させることを目的とあります。

第4章の第9条には、議会は政策立案の強化に努めるとともに、条例の制定、議案の修正、決議等を通じて、市長等に対し、政策立案及び政策提言を行うものとするとうたっています。

第5章の第11条には議会は、市政に関する重要な政策及び課題に関し、議会としての共通認識の熟成を図るとともに、合意形成を得るため、政策討論会を開催するものとするとうたっています。本条では、議員相互の自由討論の具体的な実践の場として政策討論会を開催することを定めています。掛川市議会基本条例では、議会報告会・政策立案・政策討論会が明文化されています。

掛川市議会報告会は平成25年から始まりました。議会報告会と政策立案及び政策提言を一体化させ政策討論会を経て議会から提言書として市長に提出しています。これは大きな成果を挙げていると考えます。やはり、市民から上がった意見は担当部局に上げるだけでなく議会で揉んで提言することも大事だと考えます。

●議会運営委員会 先進地調査視察 飯能市議会

飯能市の人口は約 8 万人。埼玉県南西部に位置し地形は山地、丘陵地、台地に分けられます。北西部は山地で、市域の約 76 パーセントを森林が占めています。南東部は丘陵地および台地で、北の高麗丘陵と南の加治丘陵の間の台地部分に市街地が発達しています。昭和 29 年に県下 9 番目の市制を施行、古くは林業と織物のまちとして栄えました。昭和 40 年代からは宅地化が進展し、高校や大学、工場などの立地も進み、首都圏の近郊住宅都市として変化をみせました。都心から約 50km 圏内に位置し、交通アクセスも良好な環境にありながら、緑と清流という自然に恵まれた飯能市は、古くから豊かな森林と人との共生によって、人々の暮らしや文化・歴史、産業が育まれてきました。その飯能市にタブレット端末の導入について調査研修に行ってきました。

飯能市議会では、全国に先駆けてタブレットを導入し、議会資料のペーパーレス化を進めています。飯能市が、環境マネジメントシス

テムを取得。電気使用料・ゴミ排出量・紙使用量削減を目指す中、議会改革を進めていた市議会内でタブレット導入の方向に進んでいった。議会事務局が議員に対して連絡をFAXで行っていたが、メール配信に変わってからは仕事量が大幅に減った。

最初の導入は平成24年度であり導入費用は346万円。1台あたりの通信費は年約58800円。議員との費用負担は公費約39200円、政務活動費9800円、自己負担9800円であります。平成28年度第2世代目の導入費用は、約270万円。1台あたりの通信費用は年約45600円。議員との費用負担は公費約38000円、自己負担7600円あります。

現在、全員協議会や各種議会会議のペーパーレス化、一般質問での使用、議会事務局との連絡、災害時の情報伝達、議案書や予算・決算書の閲覧等に活用されています。

十和田市議会にタブレット端末を導入することについてはいろんな角度からの検証が必要であると考えます。はたして議会側だけでいいものなのか、行政側にも必要ではないのか

どのような検証が必要か協議していかなければならないと考えま
す。

委員会行政視察報告書

委員会名	議会運営委員会			
活 動 委 員 名				
委員長 畑山親弘	副委員長 久慈年和		石橋義雄	
堰野端展雄	江渡信貴		氣田量子	
山端博	櫻田百合子		工藤正廣	
田中重光				
経 費 区 分				合計金額
1 研修旅費	2 自動車借上料	3 議長交際費	一人当りの費用	
827,765		4,994	83,276	832,759
期 間 (年月日)	平成30年1月23日～25日(2泊3日)			
視察事項	1、タブレット端末の導入について			
	2、議会報告会について			
視察先	埼玉県飯能市 静岡県掛川市			
内容及び成果				
1、タブレット端末の導入について				
<p>ペーパーレス化の推進等を図るため、平成24年度に全国に先駆けて、議会と理事者が一体となってタブレット型端末機を導入した飯能市。この間、約250自治体の視察を受け入れたとのこと。改めて、先駆けて行うことの重要性を思い知らされた。</p> <p>さて、視察は旧型タブレット端末機での資料配布、議員自らの対応となった。</p> <p>①会議における紙資料の使用状況については、理事者と協議を重ね、議案書、予算書、決算書等をデータ化し、クラウドシステムを利用して、閲覧が可能となっている。</p> <p>②議員への各種会議の開催通知については、ファックス送信の時は全議員に送るだけで1時間かかり、その作業を金額にすると年30万円ほどの削減効果が得られている。また、タブレットは基本的に持ち歩くため、即時対応が可能となった。</p> <p>③平成28年度からの新型タブレット端末機導入にあたり、通信費用を削減するため、通信容量を調査し、一人あたり3GBだったものを一人あたり1.36GBとし、30GBをみんなでシェアするプランに変更した。</p> <p>④アプリケーションソフトに関して、当初は制限していたが、現在は制限を解除しているようで、極端な例としてゲームも可能となり、私的利用を認める分、費用負担を公費</p>				

※視察報告書の充実を図るため、視察時の質疑応答事項等も記載してください。視察者個々の所感別途作成し添付してください。

5/6、個人負担1/6としたそうである。確かに、公的利用と私的利用を区別するのは難しく、いくらかでも個人負担をしているならば、文句のつけようもないだろう。

⑤本会議での使用状況としては、一般質問でのデータ等使用は自由というのは驚かされた。十和田市議会では、使用する資料については、議運に諮ってからとしている。これは例えば、誤った資料内容に基づき、質問することがないようにするためのことであるが、それが全くの自由とは・・・

何にせよ、当議会においても早急に取り組むべきであり、議会内での議論を加速させる必要がある。

2、議会報告会について

とにかく、「市民も議会もレベルが違う」という印象であった。

まずは報告会の議会事務局の役割についてであるが、会場の予約から全て、議員対応、事務局は何もしないとのこと。当議会では、会場の予約は事務局にお願いしているので今後の検討課題である。

報告会の資料作成であるが、当初は事務局がバックアップしていたそうだが、現在では議員だけの作業班を結成し、そこで打ち合わせをしながら作成。そして、それを全体会で確認・調整し、最後にリハーサルをして、報告会に臨んでいるとのこと。議員それぞれが、率先してやっているそうで、当議会も是非ともやらなければと思わされた。

班編成では、各常任委員会の委員が配置されるようにしているとのこと。確かに専門的になると、所属委員でなければわからない部分があるので、当議会でも考えてみなければならぬ。

報告会の実施状況はとにかく凄い一言。参加人数が400～500人越え。1会場あたり50人以上の参加である。周知方法としては、当議会とほぼ同じであるが、自治会回覧を行っているとのこと。それだけでこれだけの人数になっているとは到底思えず、この辺りが市民の意識の高さにあるのではと思わされた。当然、報告会の内容自体も素晴らしいからこそであることは、言うまでもない。

また、報告会を経ての政策討論会の実施は、非常に勉強になった。テーマは市民の要望にゆえたり、議員提案であったりのようなものであるが、各会派から選出された幹事による幹事会で決定し、討論を重ね、議会の合意形成が図られた場合に、政策提言として市長等に提言しているとのこと。平成25年から毎年、実施しており、条例制定までいった提言もある。まずは、討論を重ねるところも素晴らしいが、合意形成に至っていることが感心させられた。本来、議会には様々な意見があり、全議員の合意形成がなされる事は非常に難しいと考えている私にとっては、新鮮であり、本当に感心させられた。

当議会では、議会報告会は市民との情報の共有、交流が目的であると私は思っていたが、掛川市ではそれに留まらず、政策提言が目的になっていることには本当に素晴らしい

委員会行政視察報告書

委員会名	議会運営委員会			
活動委員名				
委員長 畑山親弘	副委員長 久慈年和		石橋義雄	
堰野端展雄	江渡信貴		氣田量子	
山端博	櫻田百合子		工藤正廣	
田中重光				
経費区分				合計金額
1 研修旅費	2 自動車借上料	3 議長交際費	一人当りの費用	
827,765		4,994	83,276	832,759
期間 (年月日)	平成30年1月23日～平成30年1月25日(2泊3日)			
視察事項	○埼玉県飯能市 タブレット端末の導入について ○静岡県掛川市 議会報告会について			
視察先	埼玉県飯能市 静岡県掛川市			
内容及び成果				
①埼玉県飯能市 タブレット端末の導入について				
・十和田市議会運営委員会として、平成30年1月23日から1月25日までの日程で、埼玉県飯能市議会と静岡県掛川市議会に調査視察研修に行ってきました。				
調査目的は飯能市議会のタブレット端末の導入についてと掛川市議会の議会報告会についての先進事例について調査研修する為でありました。				
前日からの関東地方の大雪により非常に寒い日にもかかわらず、飯能市議会のIT会議のメンバーから温かく迎えて戴きました。				
双方の自己紹介の後、飯能市議会でのタブレット端末の導入について、経緯から現状効果、今後の課題等について説明があり、その後質疑応答という形で、様々な課題について、タブレットを操作しながら研修してきました。				
タブレット端末の導入は平成24年度からであり、費用負担の割合や各種会議のペーパーレス化、本会議、一般質問時の効果的な活用、議会内の情報伝達、災害時の活用、さらに、議案書、予算書の閲覧、会議中の情報、各種書類の整理保存等、またタブレットの管理、使用にあたっての問題点等多岐にわたって様々な観点から質問をし、それらのことに対して丁寧に答弁、説明を戴き、今後の取り組みに大いに参考になり				

※視察報告書の充実を図るため、視察時の質疑応答事項等も記載してください。視察者個々の所感は別途作成し添付してください。

ました。

②静岡県掛川市 議会報告会について

・二日目は静岡県掛川市議会を訪問し、議会報告会について調査研修をしました。双方の自己紹介の後、議会報告会の概要について説明を受けました。そこで驚いたのは、平成25年から開催している議会報告会には、毎年市民の方々が、500人前後の参加者があるという事と、会場も9会場に分かれ、開催毎にテーマを設けて行っているということです。議会報告会開催前にテーマを設定し、調査研究を行い、議会報告会に臨み、そこで市民の意見を伺い、そのことをもって政策研究討論を行い、議会として市長に提言し、施策、予算に反映させているとのことでした。

市民、議会、行政が一体となった町をつくるには、それなりの時間と取り組みの意欲が必要であるという事を学ばせて戴きました。これらの事をこれからの十和田市政に活かすべき議論を重ねていきたいものです。

委員会行政視察報告書

委員会名	議会運営委員会			
活動委員名				
委員長 畑山親弘	副委員長 久慈年和		石橋義雄	
堰野端展雄	江渡信貴		氣田量子	
山端博	櫻田百合子		工藤正廣	
田中重光				
経費区分				合計金額
1 研修旅費	2 自動車借上料	3 議長交際費	一人当りの費用	
827,765		4,994	83,276	832,759
期間 (年月日)	平成30年1月23日～平成30年1月25日(2泊3日)			
視察事項	○埼玉県飯能市 タブレット端末の導入について ○静岡県掛川市 議会報告会について			
視察先	埼玉県飯能市 静岡県掛川市			
内容及び成果				
○埼玉県飯能市 タブレット端末の導入について				
<p>現代社会では、すべての企業がインターネット、タブレット等ITの活用について避けては通れない状況となっている。しかしながら今日までの当市における議会運営は、アナログ的な観念があり、IT活用の考え方が無かったように思う。確かにタブレット導入により、ペーパーレスはもとより、全ての情報、連絡、記録はペーパー不要となり、費用、時間のロスが防げる。これからの議会運営ではタブレットは必要不可欠である。将来を見据え、全議員がその必要性を理解すべきである。今回の飯能市では、いち早くタブレットを導入、他議会の模範となっている市である。当市においても、一日も早い導入を願うものである。</p>				
○静岡県掛川市 議会報告会について				
<p>議員の活動、議会がどのようになっているかわからないと、市民から厳しい意見をいただき、その対応策として始めたのが議会報告会である。議会基本条例を策定、できるだけ議会活動を市民にお知らせする。手法はほかにもあると思うが、まずは、議員全員参加のもとで、市民と対話、報告することが基本と思う。しかし、実際は、市民の参加が少なく、どのようにしたら参加してくれるのか、その対策を調査すべく先進地の掛川市を視察した。</p>				

※視察報告書の充実を図るため、視察時の質疑応答事項等も記載してください。視察者個々の所感は別途作成し添付してください。

掛川市は人口118,000人に対し、議員定数が21名であることに、まずは驚いた。

議会報告会の基本的考え方は、市民から意見を聴き、それを集約して最終的には政策提言につなげる。この方法が、多くの市民が参加する要因と思う。そのやり方として、議員間で討議しテーマを決め、報告会の場で意見を求める。その後、市長、理事者と協議を重ね、最後に議会全員協議会で政策討論を行い、決定している。議会報告会にとどまらず、議員活動を集約し政策提案まで行う。この手法ができれば議員の議会での活動の結果が明確に出るため、多くの市民の参加が期待できると思う。大変すばらしい。その点、わが議会には検討しなければならない課題があると思う。まずはできることから一つずつ進むことが肝要と思う。

委員会行政視察報告書

委員会名	議会運営委員会			
活 動 委 員 名				
委員長 畑山親弘	副委員長 久慈年和		石橋義雄	
堰野端展雄	江渡信貴		氣田量子	
山端博	櫻田百合子		工藤正廣	
田中重光				
経 費 区 分				合計金額
1 研修旅費	2 自動車借上料	3 議長交際費	一人当りの費用	
827,765		4,994	83,276	832,759
期 間 (年月日)	平成30年1月23日～平成30年1月25日(2泊3日)			
視察事項	○埼玉県飯能市 タブレット端末の導入について			
	○静岡県掛川市 議会報告会について			
視察先	埼玉県飯能市 静岡県掛川市			
内容及び成果				
①平成30年1月23日 埼玉県飯能市 <タブレット端末導入の経緯と課題について>				
・視察先での説明員は、これまで市担当課職員か事務局職員が行うことが多い中、飯能市においては議員3名で、私共にタブレット端末(現物)を渡し、それを使って導入までの経緯と、今後の取り組みの課題について説明していただき非常に理解(操作しながらのため)できた。				
・導入当初は高齢の議員に戸惑いが見られたが、現在は議員全員が操作できるようになり、常に携帯し活用していた。ただし、各種会議や委員会開催の通知は簡素化されたが、タブレットを見ないがため(開かないため)、欠席する議員も多く、議会職員は電話連絡等の業務量が増えるということが多々あったようだ。				
・ペーパーレス化につながるという利点も(効率が上がる)ある。ボタン一つの操作で全議員に連絡できる等、いろいろメリットもあるが、議案書、予算書、決算書等は現在も従来どおり紙資料で対応している。この点が今後の課題の一つとっている。				
・各種情報の発信、受信が可能になるが、発信地の表示によるプライバシーの問題もあるようだ。また、重要かつ秘密性資料が保存されているので、端末機の盗難、置忘れ等の無いよう十分な管理とセキュリティ対策を講じる必要があるとともに、「議員の自覚」も重要である。				
○私は、当市で今後導入するに当たっては、費用対効果及び機材、個人負担(通信費)割合を				

※視察報告書の充実を図るため、視察時の質疑応答事項等も記載してください。視察者個々の所感は別途作成し添付してください。

きちんと定めないと（公費使用があるため）市民からの苦情のもとになる恐れがあると思う。

○もう1点は全国自治体の導入傾向、実態を調査、研究し、判断してもいいと思う。

「IT」技術は日進月歩している（急ぐ必要なし）。

②平成30年1月24日 静岡県掛川市 <議会報告会について>

・掛川市は人口約118,000人一般会計予算472億円、議員定数21人と、当市に比べ人口は約2倍、一般会計予算は1.57倍、議員定数は逆に95%と少ない中で、何故議会報告会を重要視することになったかといえ、掛川市は「財政再建団体から脱却するために」議会そして議員がやるべきことを、市民と共に考え、意見交換をしながら行政をどうすべきか（動かす手法）を協同で進めようという発想のもとで始めたもので、議員も市民も真剣にタイトル・テーマを明確に設定し、平成25年から中学校区別に9会場でスタート。初年度の平成25年度は市民542人、平成26年度603人、平成27年度552人、平成28年度452人（改選期）、平成29年度522人と、5年間で2,671人、平均534.2人の市民参加を実現し、行政に対し政策提言するまでに育成、成長させ「財政再建団体脱却」の市民総ぐるみの取り組みが成功した例ではないか。

○私見であるが、掛川市の議員の識見が非常に高く、議員としての使命、自覚を持って行動、活動している姿を見ると、私自身をもっと勉強し見習うべき点が多く、反省する「研修・視察」であった。

○私共の市政報告も、実施にあたり、各地区「町内会回覧」等を活用しての市民の「生」の声を聞かせてほしいとのアピールをしていきたい。